

## 新専門医 に聞く

平成25年度に新しくリハ専門医になられた先生に抱負を語っていただきました。専門領域がそれぞれ異なりますが、リハ医学にける情熱は大きく、これからの地方会を引っ張る新進気鋭の方々です。近畿地方会へのご支援を期待しております。(平成25年度 第1号(通巻18号)からの引き続きの掲載です)

### 笠原 俊幸 近江八幡市立総合医療センター



はじめまして。このたびリハビリテーション医学会の専門医認定を受けました笠原俊幸と申します。10年間整形外科医として臨床活動を行った後、滋賀医科大学リハビリテーション科にて研修を行い専門医をとらせていただくことができました。専門は運動器と関節リウマチになりますが、いまさらながらにリハ医学の範囲の広さと今後の日本における重要性に気がつき戦々恐々としている毎日です。趣味は登山だったので最近ではさっぱり登っていないので、メタボ・ロコモを予防するためにもまた再開したいと思っています。専門医としての知識と経験はまだまだ心もとないものがありますが、少しでも滋賀県のリハ医療に貢献できるような活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

## 第1回近畿地区新専門医交流会の開催報告

### 和歌山県立医科大学リハビリテーション医学 中村 健

平成25年10月19日(土)に、大阪医科大学において近畿地区の新専門医交流会を日本リハビリテーション医学会専門医会と近畿地方会の共催にて開催いたしました。この新専門医交流会は、関東地区では数年前より開催されており新専門医間で好評を得ている事もあり、近畿地区においても本年度より開催する事になりました。近畿地区では、平成25年度に22名の新専門医が誕生しています。また、平成24年度には11名の新専門医が誕生しており、平成25年度と24年度の新専門医33名を対象に参加を呼びかけ、新専門医交流会として演題発表会と懇親会を開催しました。

当日は、新専門医9名と近畿地方会幹事5名の参加があり、新専門医の先生方から演題発表が行われました。発表は、坂野元彦先生より「当院におけるリハビリテーションの取り組み」、辻野精一先生より「私の施設紹介」、内山侑紀先生より「当院の現状について」、阪上芳男先生より「リハビリ医学への自問自答」という4演題で行われました。各演題発表に対し参加者間において各施設におけるリハの取り組み、診療上の問題点、リハ医療に対する

意見など活発な意見交換が行われました。リハ医療に対する日頃の悩みや疑問などについての発言や意見も多くあり、新専門医交流会ならではの演題発表会になりました。また、近畿地方会副代表幹事の中土保先生より、近畿地区のリハ医が集まり活動している「リハせん会」の紹介が、新専門医の先生方に向けてありました。懇親会は大阪医科大学の地下食堂で行い、初めに近畿地方会幹事の阿部和夫先生に乾杯の挨拶を頂きました。懇親会では、自己紹介や情報交換が行われ参加者間の懇親を深める事ができました。最後に、参加者全員による記念撮影を行い、近畿地方会副代表幹事の菅本一臣先生より閉会の挨拶を頂き交流会は終了しました。

参加者からは、活発な意見交換と交流が行われ有意義な会であったとの意見が多く聞かれました。しかし、参加者が少なかったとの意見もあり、今後は多くの新専門医の先生方に参加して頂き、交流をさらに広げていける交流会としたいと考えています。最後に、新専門医交流会に参加して頂いた新専門医、近畿地方会幹事の先生方に深く感謝いたします。

